

2023年度

ニチイキッズ毛利町保育園 自己評価総括表

地域社会における保育施設として、その運営や保育内容について、自らの保育実践を振り返り、自己評価を行いましたので、その結果を以下の通り公表いたします。

また、本自己評価の結果を踏まえ、今後も更なる専門性の向上や保育実践の改善に努め、より一層質の高い保育の実践を目指してまいります。

評価方法		
保育士等（全職員）の自己評価	評価期間	2024年1月4日（木）～1月31日（水）
	実施方法	全職員に自己評価について趣旨を説明し自己評価を実施した。
保育施設の評価	評価日	2024年2月8日（木）
	実施方法	話し合いにより職場全体で共有し、保育施設の課題を明確化し、改善策を検討した。

項目ごとの評価	
保育理念	保育士自身が思いっきり楽しみながら保育を行うことができたか？を振り返り、できた事、課題を明確化した。各クラス子ども達のその時持っている興味、関心をくみ取り保育を行うことができた。
子どもの発達援助	一人ひとりの子どもの発達状況を把握し園内で共有し同じ対応ができるようにしてきた。子どもの気持ちを考えながらも対応が難しい時には会議、ミーティングなどで情報共有しながら個々にあった対応を考えて行くようにした。
保護者に対する支援	日々保護者と、その日のエピソードやできた事をなどを伝え、成長過程を共有し、話しやすく信頼できる関係を築いていった。また保護者面談も年2回設定し育児の悩みを傾聴するとともに様々な機関ともつながりを持ち一緒にあってよりよい対応を考え行うことができた。
保育を支える組織的基盤	何事も一人で抱えず報告、相談をし園内で共有後、「自分だったらどのようにするか？」という対応の仕方をそれぞれが考え話し合いの場を持った。これは今後も継続して行っていく。

総評
今年度は特に「子どもの最善の利益とは？」を様々なところで振り返り行ってきた。子どもの気持ちを考えた言葉かけ（態度）だったのか？大人の都合になっていないか？それを再確認したうえでニチイの保育理念、保育目標を基本として今後も子ども達の気持ちを大切にし保護者の皆様と一緒にあって保育を行っていきたい。また外部の機関とも良好な関係を継続していく。